

領域12 インフォーマルミーティング 議事録

日時：2024年3月19日 18:30～19:30

場所：Zoom

司会：北尾彰朗（領域代表）

書記：貞包浩一郎（領域運営委員）

1. 領域運営体制について

以下の内容を確認した。

領域代表：栗田玲（都立大学）

任期 2024年4月—2025年3月

領域副代表：山口毅（名古屋大学）

任期 2024年4月—2025年3月

次期領域副代表：藤崎弘士（日本医科大学）

任期 2024年4月—2025年3月

任期	ソフトマター	化学物理	生物物理
2023年4月-2024年3月	貞包浩一郎(同志社大)	永井哲郎(福岡大)	佐藤匠哉(理研)
2023年10月-2024年9月	小林史明(九州大)	近藤徹(東工大)	多羅間充輔(九州大)
2024年4月-2025年3月	堀川裕加(山口大学)	水口朋子(京都工繊大)	大窪健児(総研大)

2. 次期領域運営委員案について

以下の報告がなされた。

任期 2024年10月—2025年9月

ソフトマター 未定

化学物理 未定

生物物理 江端宏之（九大）

審議により、生物物理の案については承認した。ソフトマターと化学物理については近日中に候補者を選定し、メール審議を行うこととした。メール審議では

- 3つのメーリングリスト（ソフトマター物理、化学物理、生物物理）にアナウンスすること
- 「異議がある場合は〇月〇日（1週間後）までに申し出てください」といった文言を含めること

も確認した。

3. 2024 年年次大会への提案

(1) アクティブマターやソフトマター、古典系・量子系の乱流ダイナミクスに関するシンポジウム

前多氏よりシンポジウムの提案がなされた。

【テーマ】渦・位相欠陥で横断する乱流研究フロンティア

【趣旨】乱流は物理学における長年にわたり研究される非平衡現象であり、その理解は古典系から量子系、近年ではアクティブマターのような自律非平衡系にまで及ぶ。現状は各領域で研究が進められている状況にとどまっており、今後は分野や系を横断する理解や共同研究が期待されている。そこで渦構造や位相欠陥を通じた乱流現象の最先端に触れるシンポジウムとする。

【オーガナイザー】前多裕介氏（九州大学理学研究院物理学部門）、箕輪陽介氏（大阪大学基礎工学研究科）

【講演予定件数】6 件程度

【合同提案領域】領域 5、6、11、12

以上の内容について審議を行い、承認した。

(2) 招待講演提案

永井氏より招待講演が提案された。

【講演者】笠原健人氏（大阪大学基礎工学研究科）

【講演題目】2 分子反応理論と分子動力学シミュレーションによる分子会合課程の物理化学的解析

【提案理由】笠原氏は理論と分子動力学シミュレーションを上手に組み合わせて会合現象などに対する速度論を展開している。理論の定式化からモデルタンパク質系の応用まで成果がある。そのため、領域 12 の多くの会員に興味深いものになると考え、このたび、招待講演者として提案したい。

以上の内容について審議を行い、承認した。

(3) 学術変革領域研究(A)「超秩序構造科学」に関して領域 10 との合同シンポジウム

甲賀氏よりシンポジウムの提案がなされた。

【提案者】 木村耕治（名古屋工業大学）

【仮タイトル】 超秩序構造が拓く物性物理学

【共催】 学術変革領域研究(A)「超秩序構造科学」

【合同提案領域】 領域 6、7、10、12

以上の内容について審議を行い、承認した。

4. 計算物理領域について

3月15日臨時領域委員会（計算物理領域の試行等）の内容について、栗田領域副代表より、大きく2点の報告がなされた。

(1) 計算物理領域の立ち上げに向けて、ワーキンググループを発足させたい。ワーキンググループでは、計算物理領域の概要として

- 当面は年次大会のみの開催とする
- 領域名は番号ではなく「計算物理」とする
- 「高性能計算」「計算アルゴリズム」「データ駆動科学」の3つのセッションで構成する。「量子情報」「量子計算」等はキーワードに含めない。
- 基本は合同セッションとなるが、プログラム編成に複雑さが懸念される場合には、無理をしない。バッティングルールを適用せず、プログラム編成を複雑化しない。
- 計算物理領域と既存領域のどちらで講演するかは、講演者が決める
- プログラムの編成は計算物理領域の運営委員が主導する。既存領域の運営委員の負担を増やさない。

などの項目を検討する予定である。

(2) 物理学会からのサポートレターについて

学会から、簡単な典型文を発行してもらうことが提案されているとのこと。

以上を踏まえ審議を行い、領域 12 としてはワーキンググループの発足に賛成することとした。また、領域 12 からの参加者は栗田領域副代表（次期領域代表）とすることとした。

5. 領域運営委員の役割分担について

「連絡責任者」「HP 管理」「書記」の分担について、以下の案を承認した。

- 任期ラストの 3 人の委員（ソフトマター、化学物理、生物物理）で分担する
- 誰がどれを担当するかは、3 人の委員で話し合って決めることとする（ソフトマター、化学物理、生物物理でのローテーションで自動的に決める、ということはない）
- 引継ぎをスムーズに行うため、担当はできるだけ早く決めることとする
- インフォーマルミーティングにて、次期担当者について報告することとする
- 過去の担当者から情報を得やすくするため、ホームページ「過去の領域世話人の一覧」の氏名の箇所に、担当した役割も示しておくこととする

また、これに従い、2024 年度前半（4 月～9 月）は

- 小林史明氏（九州大）、近藤徹氏（東工大）、多羅間充輔氏（九州大）の 3 名で分担すること
- 担当者は 3 人で話し合って決めること
- 担当者が決まったら、（インフォーマルミーティングは既に終了しているため）メンバーリングリスト（ソフトマター物理、化学物理、生物物理）にて報告することを確認した。